



堺化学工業株式会社



2018年3月期
決算説明会

2018年6月11日

目 次

1. 当社グループ概要
2. 事業紹介
3. 2018年3月期 決算概要
4. 2019年3月期 業績予想
5. 当社の注力事項
6. 株主還元策



堺化学工業(株) 会社概要

本 社	堺市堺区戎島町5丁2番地
代 表 者	代表取締役社長 矢部 正昭
創 業	1918年（大正7年）6月
事業内容	無機化学工業製品、有機化成品、医薬品の 開発・製造・販売
総 資 産	117,954百万円
純 資 産	80,763百万円
関係会社	連結子会社16社（国内8社、海外8社）
従業員数	連結1,875名/単体739名（2018年3月末現在）



沿革

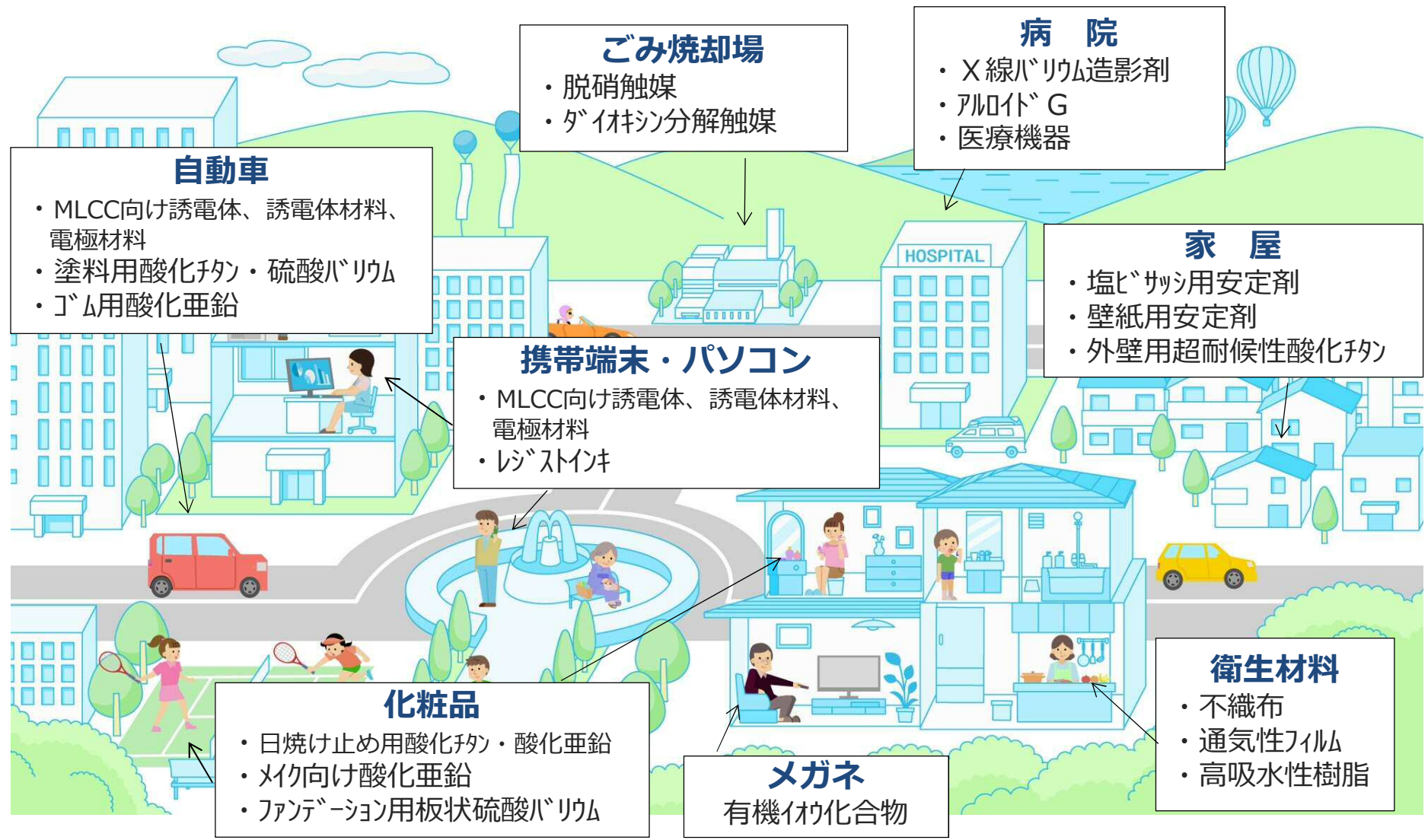
1918年	堺精煉所創立 化粧品用酸化亜鉛の製造開始
1920年	各種バリウム製品の製造開始
1935年	わが国初、酸化チタンの工業生産に成功
1936年	堺商事(株)設立
1949年	塩ビ安定剤の製造開始
1963年	小名浜工場（福島県いわき市）完成（酸化チタン需要増に対処）
1964年	(株)カイゲン（現 カイゲンファーマ(株)）設立（医薬品事業に本格進出）
1969年	ニッケル触媒の製造開始
1978年	脱硝触媒（窒素酸化物除去触媒）の製造開始
1992年	電子セラミックス材料の製造開始
1994年	富岡化学(株)（現 SC有機化学(株)）の全株式取得（有機化成品分野に本格進出）
1997年	超微細酸化亜鉛プラント完成
2005年	化粧品向け超微細品プラント完成



沿 革

2007年	Sakai Chemical (Vietnam) Co., Ltd. 設立 (樹脂添加剤事業海外進出)
2012年	(株)片山製薬所の全株式取得 (医薬品原薬・中間体分野に進出)
2012年	堺商事(株)がインドネシアにPT.S&S HYGIENE SOLUTION(合併会社) 設立 (衛生材料分野に進出)
2014年	カイゲンファーマ(株)が松岡メディテック(株)の全株式取得
2016年	(株)片山製薬所 富山工場第3製造棟 竣工
2016年	レジノカラー工業(株) 三田工場 竣工
2016年	ニッケル触媒 大剣製造所内に設備増強
2017年	松岡メディテック(株)の株式の一部をエア・ウォーター(株)に売却
2017年	ラインファルト工業(株)の全株式をニチレキ(株)に売却
2018年	創業100周年

暮らしに息づく当社グループ製品



当社グループについて

化 学【製造・販売】

堺化学工業(株)

大崎工業(株)

レジノカラー工業(株)

共同薬品(株)

SC有機化学(株)

日本カラー工業(株)

(株)片山製薬所

SAKAI CHEMICAL(VIETNAM) CO., LTD.

PT. S&S HYGIENE SOLUTION

化 学【販 売】

堺商事(株)

医 療【製造・販売】

カイゲンファーマ(株)



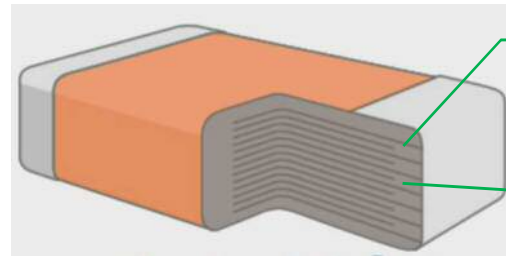
事業の紹介① 化学事業

事業概要

電子材料

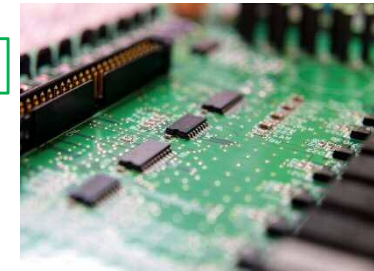
積層セラミックコンデンサ

- ・誘電体 (チタン酸バリウム)
- ・誘電体材料 (高純度炭酸バリウム)
- ・電極材料



誘電体

電極



酸化チタン・亜鉛製品

- ・酸化チタン…塗料、インキ、製紙、プラスチック、化学繊維などの白色顔料
- ・酸化亜鉛…ゴム製品の加硫促進助剤など
- ・亜鉛末…船舶・橋梁・タンクなどの重防食塗料
- ・化粧品材料…日焼け止め、ファンデーション



樹脂添加剤

パイプ、継手、窓枠、壁紙、ワイヤーハーネス

- ・塩ビ安定剤
 - ・非塩ビ安定剤
 - ・ハドのけいけい …農業用フィルム、非鉛系塩ビ安定剤
 - ・金属石鹼など
- 樹脂の加工性向上、劣化抑制など



事業の紹介① 化学事業

事業概要

衛生材料

おむつ、生理用品

- ・高吸水性樹脂 (SAP)
- ・通気性フィルム



有機化成品

プラスチックレンズモノマー、コンクリート混和剤、潤滑油添加剤、医薬品

- ・有機イオウ化合物→BMPAを国内唯一製造
- ・有機リン化合物
- ・医薬品原薬・中間体



触媒

火力発電所、ごみ焼却場、マーガリン、接着剤、光学フィルム

- ・脱硝触媒 (窒素酸化物除去触媒)
- ・プロセス触媒 (ニッケル触媒) …油脂・樹脂の水素化など
- ・触媒添加剤など



受託事業

無機・有機化学工業製品の受託製造

…顔料、着色剤、機能性インキ、触媒、樹脂添加剤など



事業の紹介② 医療事業

事業概要

(カイゲンファーマ株)

X線バリウム造影剤

…消化管撮影

薬価引き下げや
内視鏡検査普及の影響
を受ける



医療機器

・内視鏡用洗浄消毒器
→バリウムから胃カメラ検診
への移行に対応。

薬価改定の影響を受けない事業
と位置付け、開発に注力。



アルロイドG

…消化性潰瘍・逆流性食道炎治療薬

薬価引き下げやジェネリック
医薬品使用促進策強化の影響
を受ける



一般用医薬品

- ・「改源」シリーズ
- ・カイゲン顆粒
- ・カイゲンパックIB顆粒



台湾など東南アジア市場への販売目指す

2018年3月期業績概要(対前期)

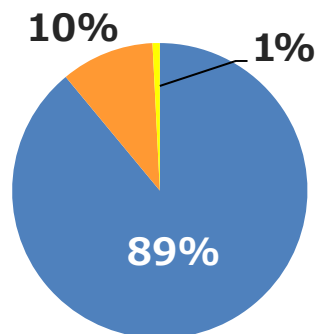
金額単位：百万円

摘 要	前期 (2017.3)		当期 (2018.3)		増 減	
		対売上高比率		対売上高比率		
売上高	83,938	100.0%	87,223	100.0%	3,285	3.9%
営業利益	4,551	5.4%	4,690	5.4%	138	3.1%
経常利益	4,290	5.1%	4,279	4.9%	▲ 10	▲0.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,037	2.4%	2,329	2.7%	292	14.4%

2018年3月期

- ◆ 医薬品原薬・中間体は伸び悩んだものの、アジア諸国の環境対策の強化、自動車の電装化の伸展などにより、電子材料や酸化チタン、樹脂添加剤が堅調に推移し、増収となった。
- ◆ 原燃料価格が上昇したが、高品質・高付加価値製品の販売強化、価格是正に努めるとともに事業全般にわたるコストダウンを図り、増益となった。

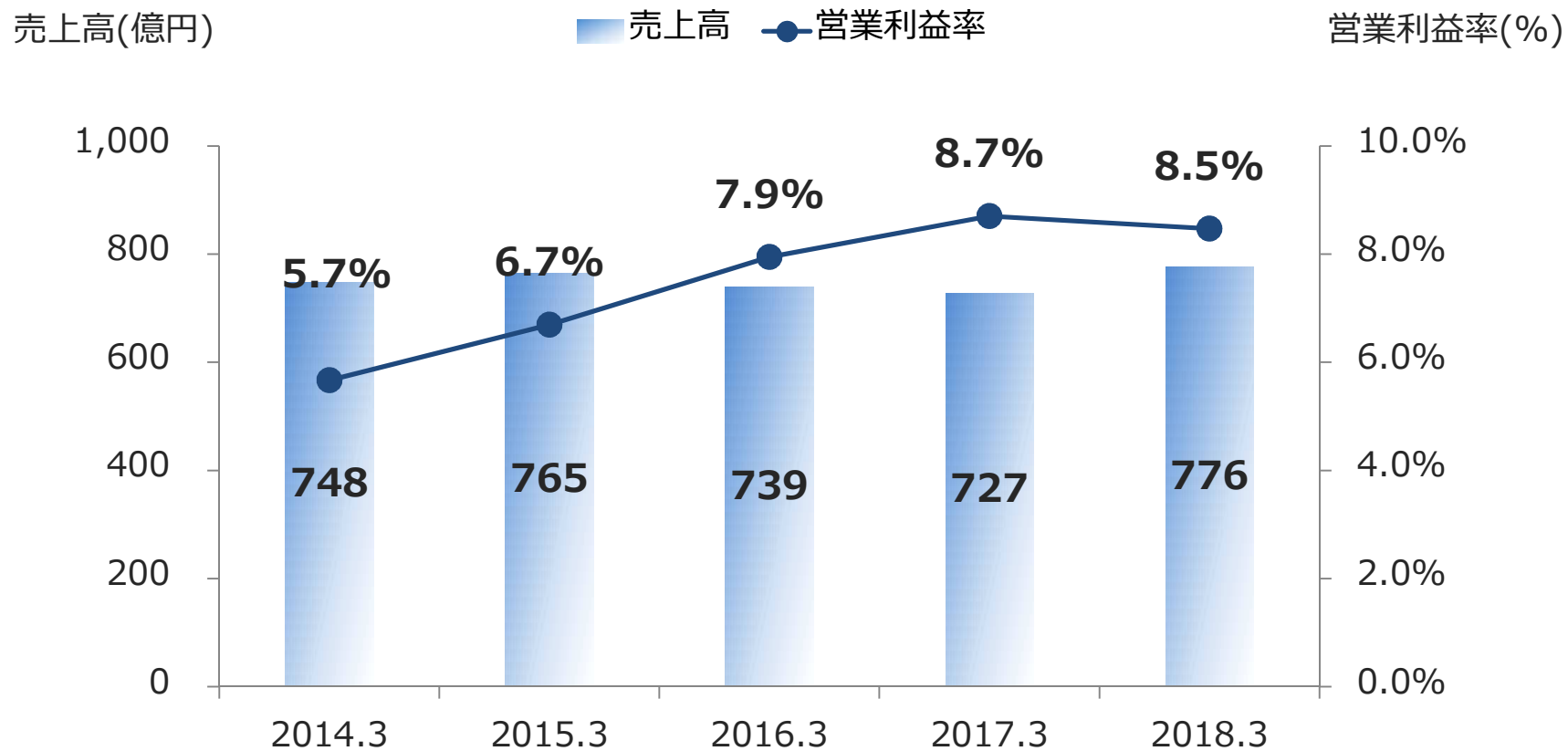
事業別売上高・営業利益



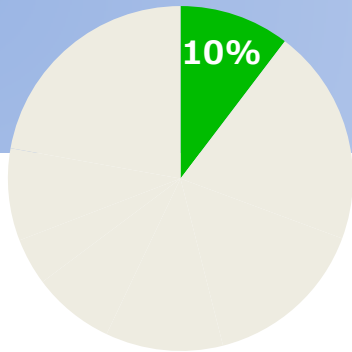
金額単位：百万円

概要		前期 (2017.3)	当期 (2018.3)	増 減 (率)	
化学事業	売上高	72,683	77,628	4,945	6.8%
	営業利益	6,327	6,574	247	3.9%
医療事業	売上高	9,424	8,920	▲ 504	▲5.4%
	営業利益	34	132	97	278.6%
その他	売上高	1,829	674	▲ 1,155	▲63.2%
	営業利益	81	16	▲ 64	▲79.6%
調整額	売上高	—	—	—	—
	営業利益	▲ 1,892	▲ 2,033	—	—
合計	売上高	83,938	87,223	3,285	3.9%
	営業利益	4,551	4,690	138	3.1%

化学事業の売上高・営業利益率



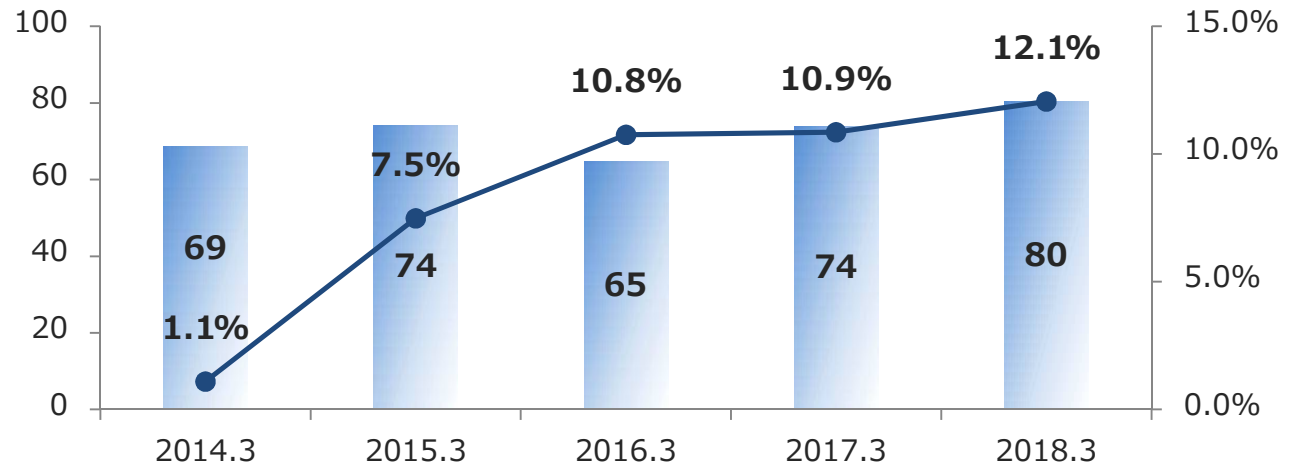
電子材料



売上高(億円)

売上高 ● 営業利益率

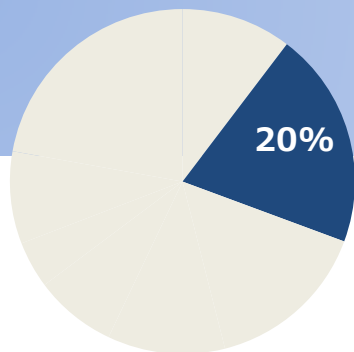
営業利益率(%)



2018年3月期のポイント

- 誘電体は、HEV/EVを含めた自動車やADAS（先進運転支援システム）などの普及で車の電装化が進んでいることから、車載向けが堅調に推移。また、携帯基地局向けにも堅調に推移。
- 誘電体材料および電極材料は、コンデンサが好調であることから、販売数量が伸張。
- 売上高は前期比、+635百万円、8.6%増の8,033百万円。

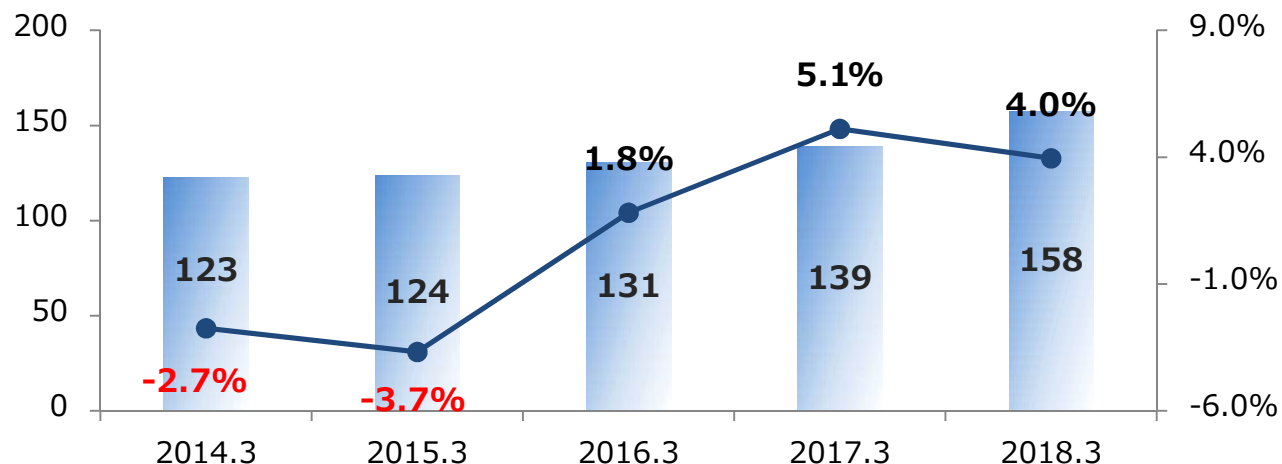
酸化チタン・亜鉛製品



売上高(億円)

売上高 営業利益率

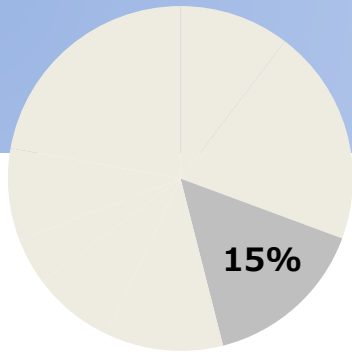
営業利益率(%)



2018年3月期のポイント

- 酸化チタンは、需給がタイトな状況が続き売上を伸ばしたが、鉱石価格の上昇によるコスト増を補えず利益は大幅に減少。7月1日納入分から価格是正を実施し、12月から利益改善に向かう。
- 亜鉛製品は、出荷数量が減少したものの、亜鉛建値の上昇で販売単価が高値で推移。
- 化粧品材料は、日焼け止め向けが国内の大手化粧品メーカーへの拡販が実るとともに、海外の新規採用も加わり好調に推移。
- 売上高は前期比、+1,844百万円、13.3%増の15,758百万円。

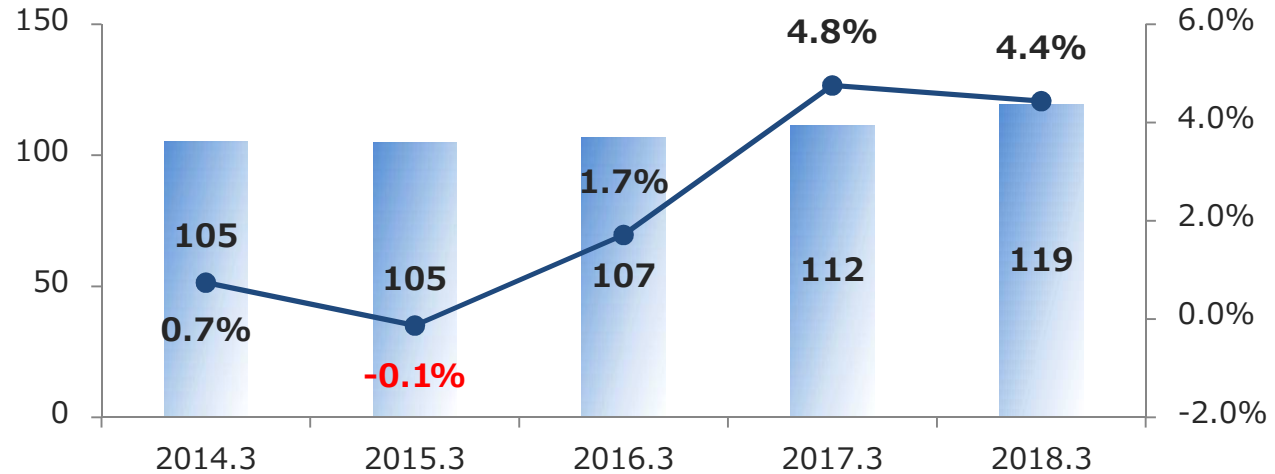
樹脂添加剤



売上高(億円)

売上高 ● 営業利益率

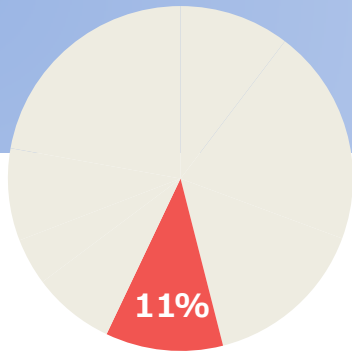
営業利益率(%)



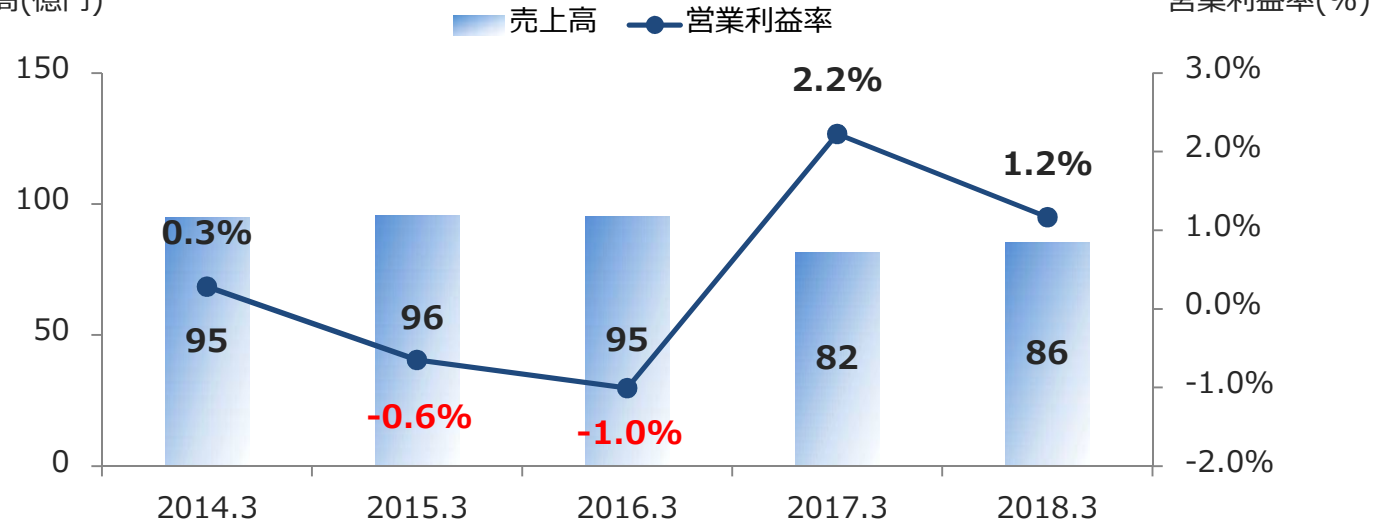
2018年3月期のポイント

- 国内は、インフラや半導体などの設備投資が活発だったことにより、工業板やパイプ用途の販売増。
- 海外は、アジアの一部で脱鉛化が進んでいる中で拡販が実り、非鉛安定剤およびハイドロタルサイトが好調に推移。
- 売上高は前期比、+783百万円、7.0%増の11,934百万円。

衛生材料



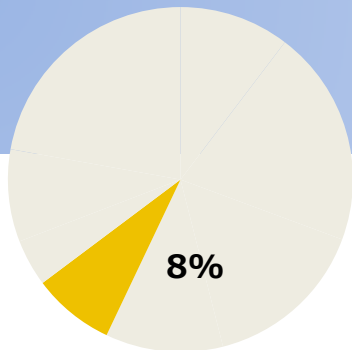
売上高(億円)



2018年3月期のポイント

- 衛生部材(フィルム・不織布)は、売上は堅調に推移したものの、利益は堺商事のインドネシア子会社において顧客ニーズの高度化により歩留りが低下して減少。
- 堺商事が仕入れ販売を行っている高吸水性樹脂(SAP)は、拡販が進まず、また一部海外顧客の商流の変化があり、低調に推移。
- 売上高は前期比、+381百万円、4.7%増の8,558百万円。

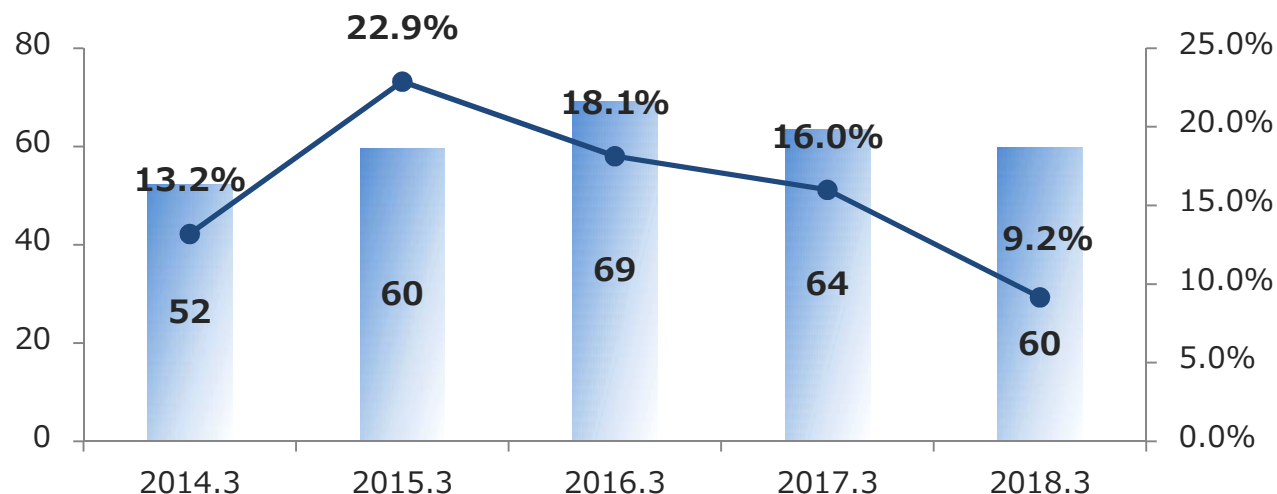
有機化学品



売上高(億円)

売上高 ● 営業利益率

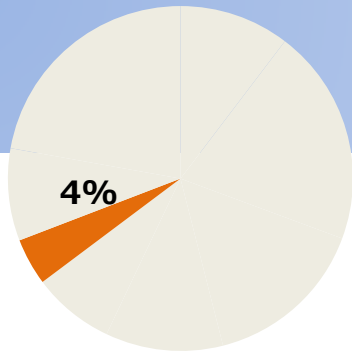
営業利益率(%)



2018年3月期のポイント

- SC有機化学のチオ製品は、プラスチックレンズやコンクリート混和剤向けで増加。
- 片山製薬所の医薬中間体は、売上は大口顧客の生産調整の影響を受けて減少、利益は新工場稼働による減価償却負担および次期開発費増により大幅に減少。
- 売上高は前年同期比、▲374百万円、5.9%減の5,979百万円。

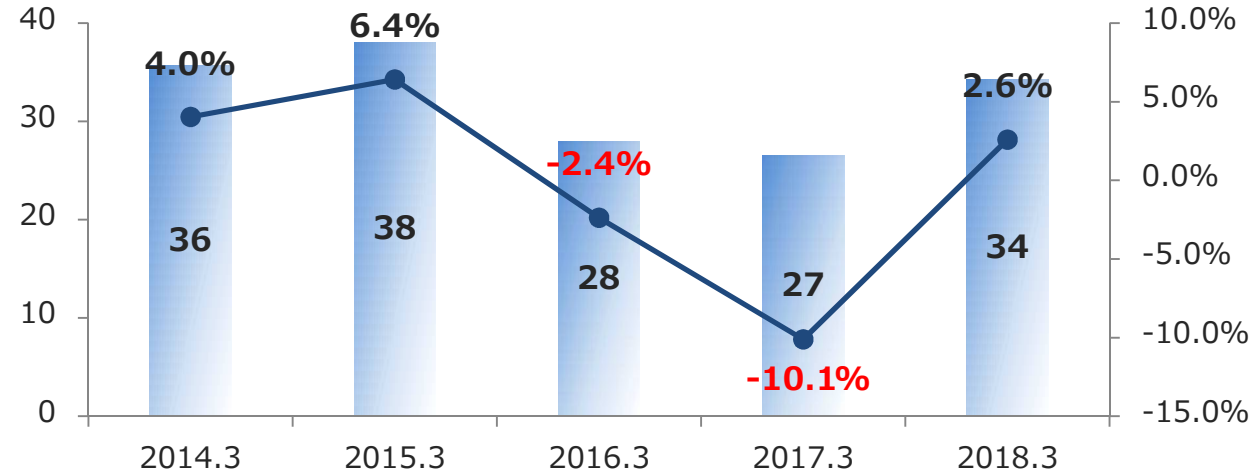
触媒



売上高(億円)

売上高 営業利益率

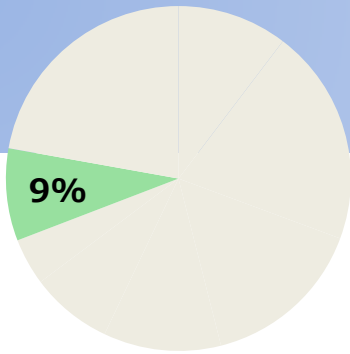
営業利益率(%)



2018年3月期のポイント

- 石油樹脂の水素添加などに使用するニッケル触媒(ex:紙おむつの接着剤の製造工程で透明性や無臭性を付与)は売上が堅調に推移。
- 脱硝触媒は、中国の環境規制を背景に、ごみ焼却炉向けに輸出がまとまったことで大幅に増加。
- 売上高は前年同期比、+777百万円、29.3%増の3,427百万円。

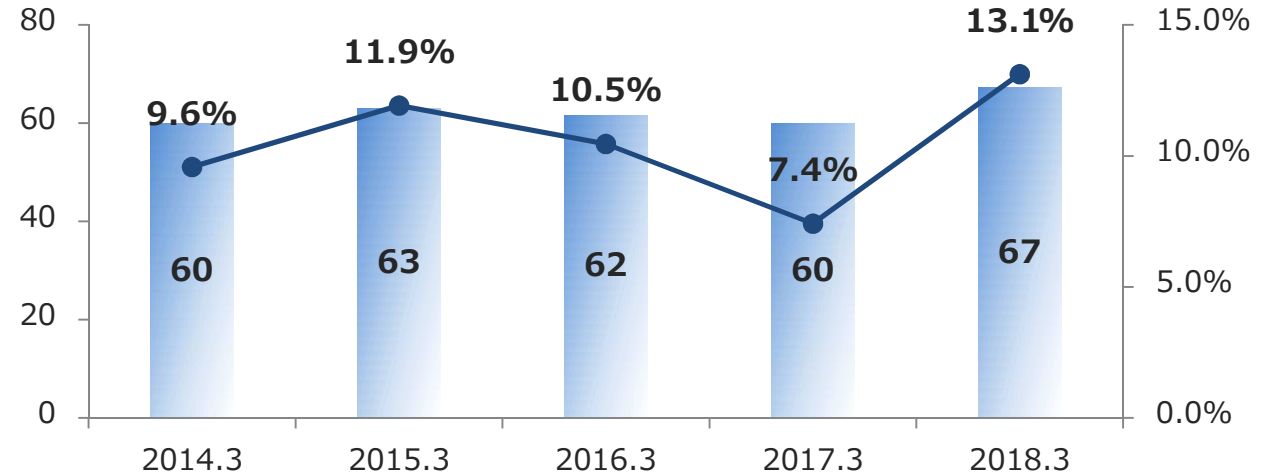
受託加工



売上高(億円)

売上高 営業利益率

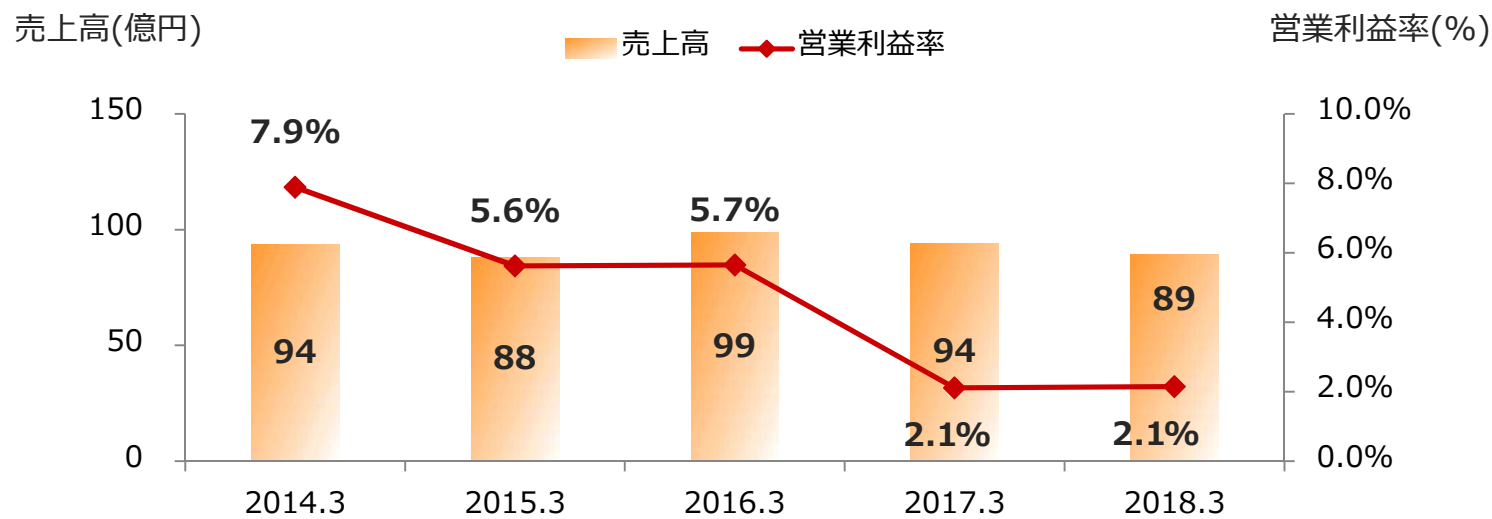
営業利益率(%)



2018年3月期のポイント

- レジノカラー工業は、機能性インキの受託が堅調に推移し、売上・利益を回復。
- 日本カラー工業は、順調に受託を獲得し、売上・利益ともに好調に推移。
- 売上高は前年同期比、+733百万円、12.2%増の6,721百万円。

医療事業の売上高・営業利益

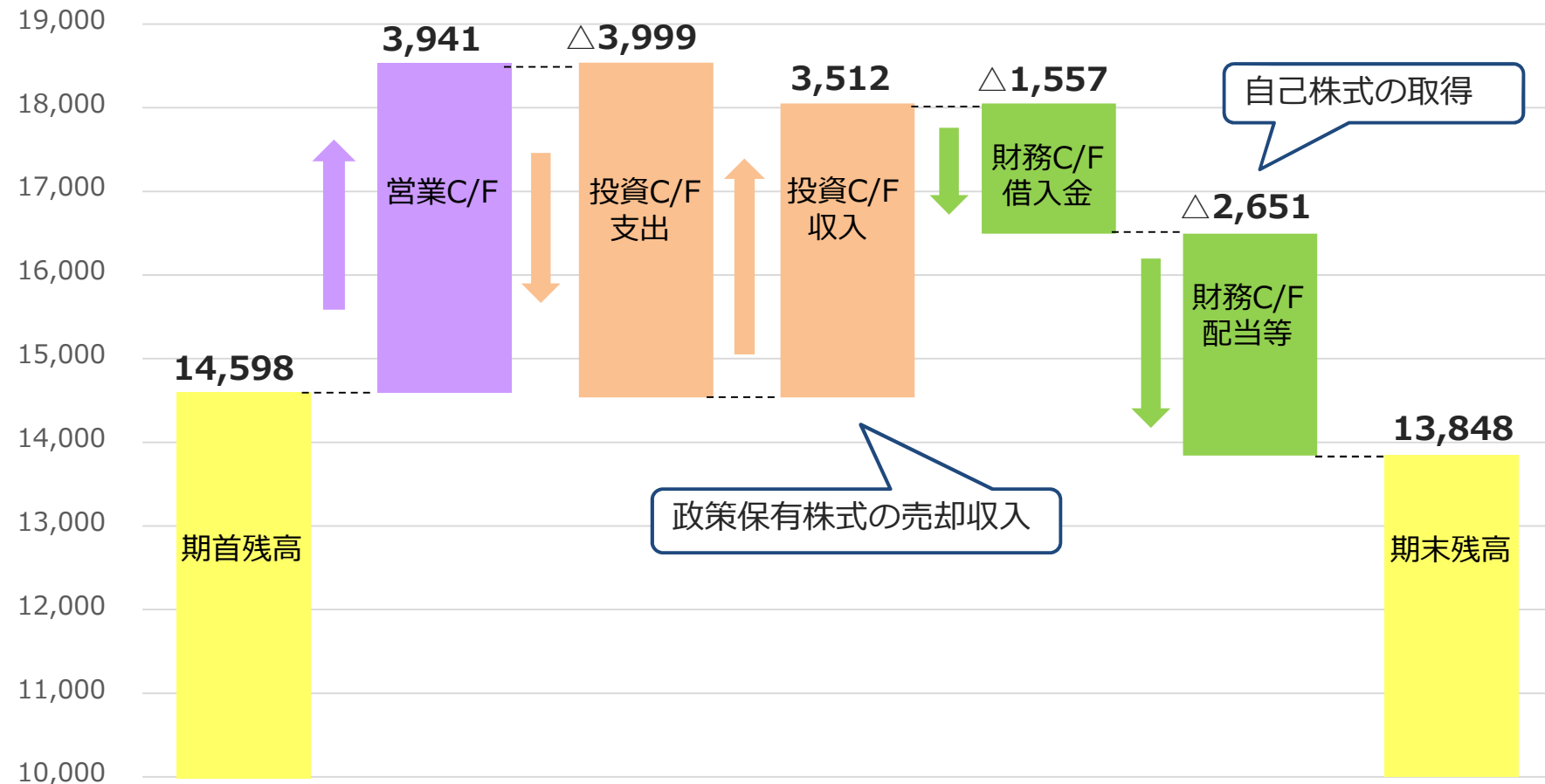


2018年3月期のポイント

- X線バリウム造影剤は、海外への拡販が実り、堅調に推移。
- 「アルロイドG」は、原料の値上がりの影響を受けて減益。
- 医療機器は、機器本体の拡販が進まなかったものの、メンテナンス契約等の獲得は順調に推移。
- かぜ薬「改源」やその他の一般用医薬品は低調に推移。
- 新規製品である「ソルプロ」、「レボシス」、「グルカゴン」が売上に寄与。
- 広告宣伝の見直し等コストダウンを図り、治験費用を吸収。

キャッシュ・フロー計算書

(百万円)



中期経営計画『共創2018』

3年間の業績推移

単位：百万円

	■ 1年目 前期実績 (2017年3月期)	■ 2年目 当期実績 (2018年3月期)	■ 3年目 今期見込み 最終年度目標数値 (2019年3月期)
売上高	83,938 (▲1.8%)	87,223 (+3.9%)	90,000 (+3.2%)
営業利益	4,551 (▲1.4%)	4,690 (+3.1%)	5,400 (+15.1%)
経常利益	4,290 (▲3.0%)	4,279 (▲0.3%)	5,000 (+16.8%)
当期純利益	2,037 (▲13.0%)	2,329 (+14.4%)	3,300 (+41.6%)

目標数値達成に向けての主な注力事項

- ・ 電子材料、化粧品材料、触媒の拡販
- ・ 衛生材料（フィルム）の生産性改善による収益力の向上
- ・ 医療事業の薬価改定の影響を受けない事業への展開

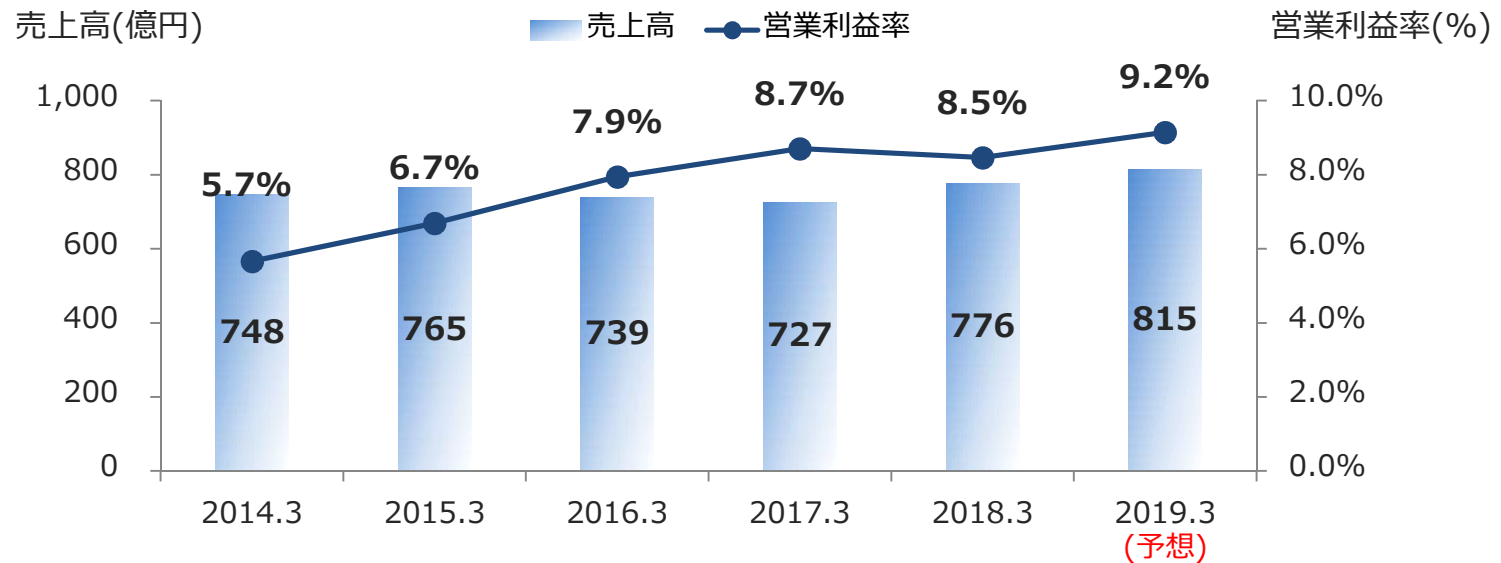
上記以外の2年目の取組み

- ・ 子会社2社の株式を売却
- ・ 小名浜、堺の両重要拠点の整備・再構築に着手
- ・ 政策保有株式の売却
- ・ 生産拠点の集約（不動産の売却等）

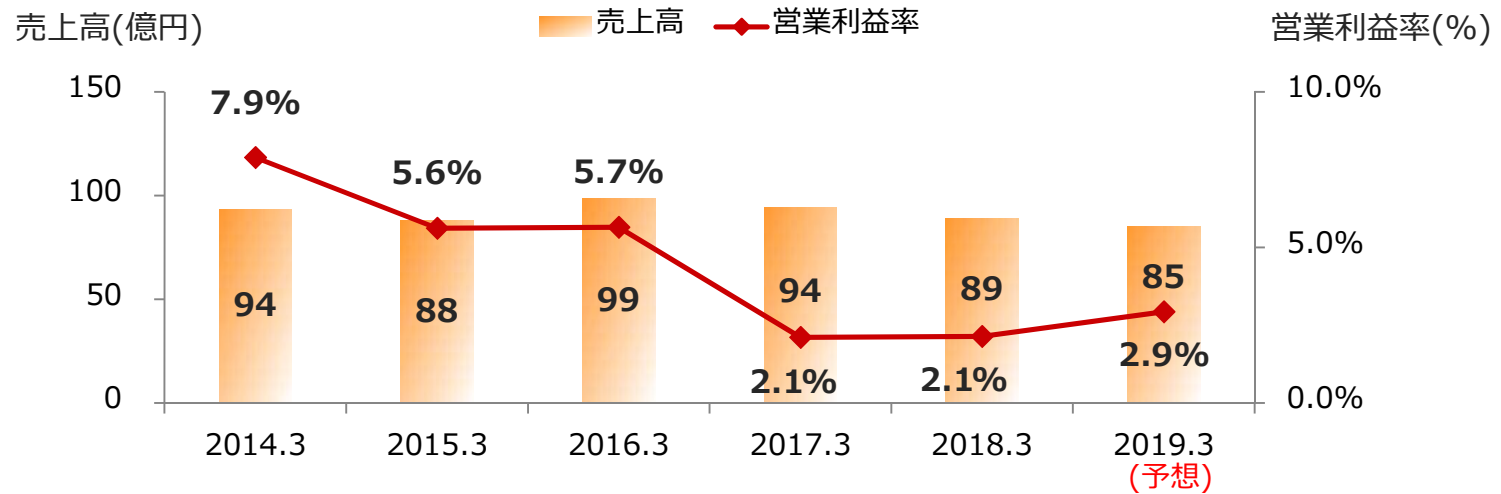


業績予想

化学



医療



小名浜・堺事業所の整備・再構築

当社の生産拠点である小名浜事業所（福島県いわき市）および堺事業所（大阪府堺市）では、将来を見据えて整備・再構築プロジェクトを発足させ、次代の成長基盤を整えています。

■ 小名浜事業所

製造ラインの合理化や生產品目の変更、重油から天然ガスへの燃料転換などにより、休止した建物・設備が点在。



新規事業の立上げや注力製品の増産を早期に行い、また製品等の保管場所のスペースを確保するため、2018年1月から解体・撤去に着手。

再構築計画では、老朽化した事務所棟や技術棟なども建て替え、従業員の働きやすい職場環境づくりにも注力する。

■ 堺事業所

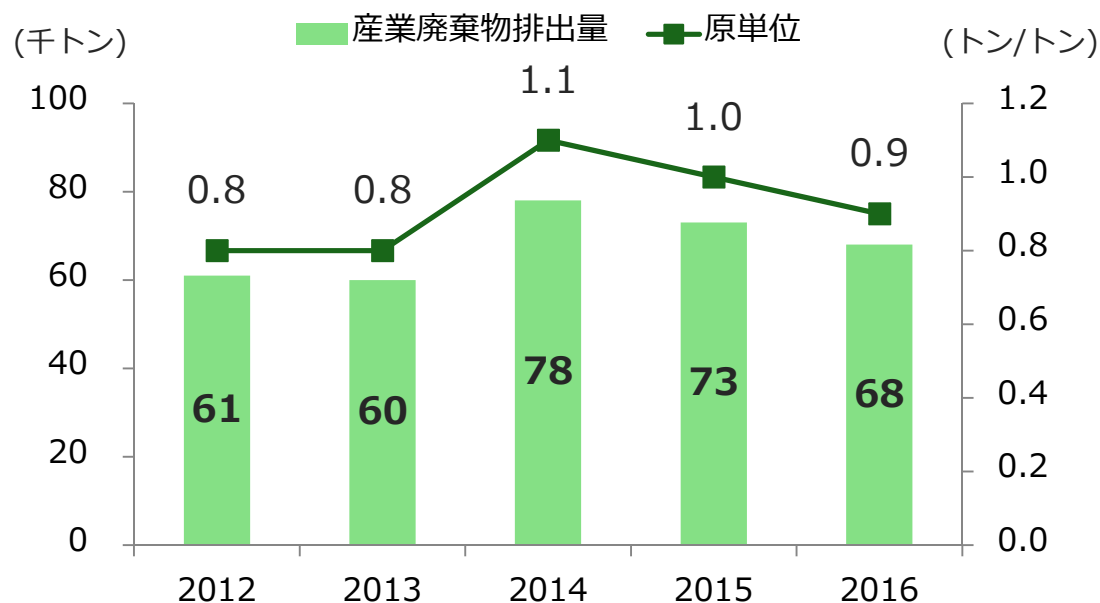
防災管理の向上と新規事業の迅速な立上げを図るため、2016年9月に解体・撤去を完了。



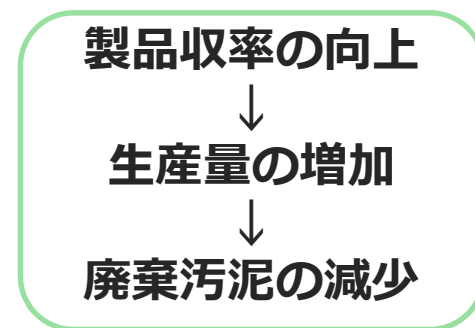
跡地には工場2棟を建設する予定であり、既存設備を集約して効率化を図るとともに、開発品の早期量産化を進める。

産業廃棄物の排出量削減

当社ではいわき市内に2か所の管理型最終処分場を設け、生態系への配慮、地域住民への理解に努めながら、自社の責任において処分場の運転管理を行っています。



※原単位とは・・・
製品（主に酸化チタン、バリウム塩類）1トン製造するのに伴い生じる廃棄汚泥の量。



- 処分場の使用期限延長
- コスト削減（環境対策税、処分場への運搬費用の削減）



**利益向上、安定操業により
永続的な事業運営へ**

環境に対する製品展開

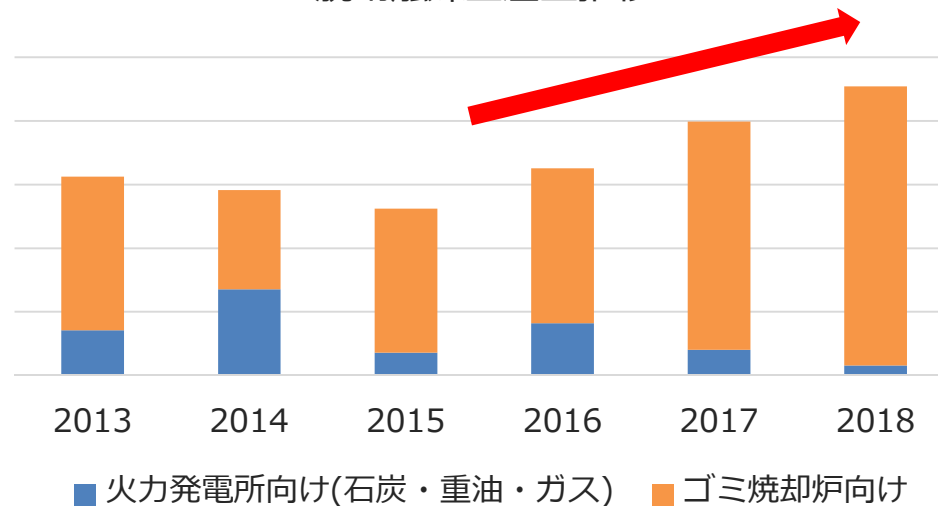
■ 脱硝触媒

世界のゴミ処理は埋立てが主流であるが、人口増加で埋め立て地が不足。



EU、中国、東南アジアでは、ゴミ焼却場の建設需要が高まっている。

脱硝触媒生産量推移



当社のごみ焼却炉向け脱硝触媒は中国を中心に売上が拡大。



2014～2018年度のごみ焼却炉向け脱硝触媒の年平均成長率は30%となる見込み。

(2018年度は、前年度比22%増)

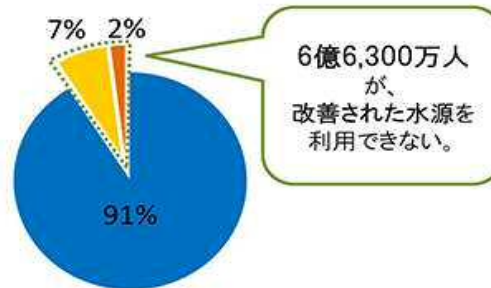
堺商事(株) 水プロジェクト

■ 水プロジェクト発足の背景

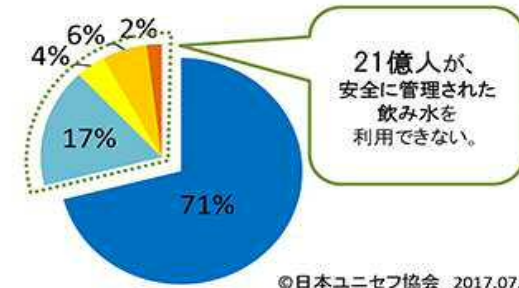
世界の約9人に1人
(12%)にあたる8億
4,400万人が、自宅から
往復30分以内で水を汲
んでくることができる改
善された水源がなく、基
本的な飲み水を使用でき
ない。

(日本ユニセフ協会)

MDGs (2000年 → 2015年)



SDGs (2015年 → 2030年)

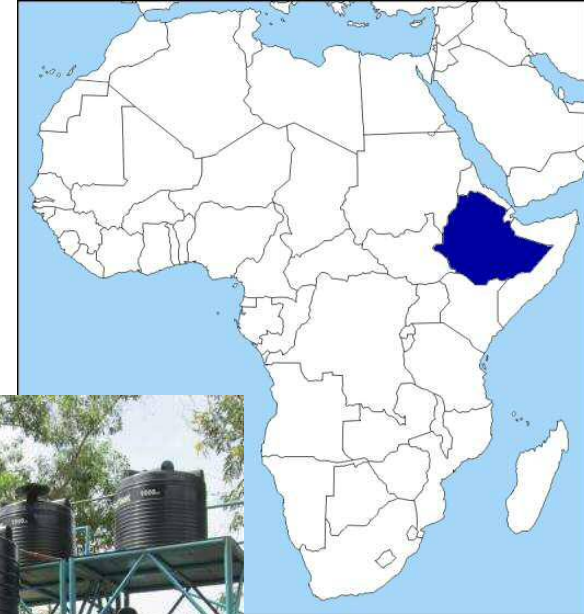


©日本ユニセフ協会 2017.07.13

堺商事(株) 水プロジェクト

■ 水プロジェクトで取り組む内容

堺商事(株)はアフリカを中心としたSafe Waterプロジェクト向けに簡易浄水設備および浄水剤を販売し、早期実績化を目指す。



当面のターゲット市場

サハラ以南のアフリカ（24カ国）を中心にユニセフ・国連機関が援助している地域のうち、まずエチオピア100万人をターゲットとして販売活動を行う

提携先

クラウンエイジェンツ

販売先

国連開発機関・各国政府機関・国際協力機構など



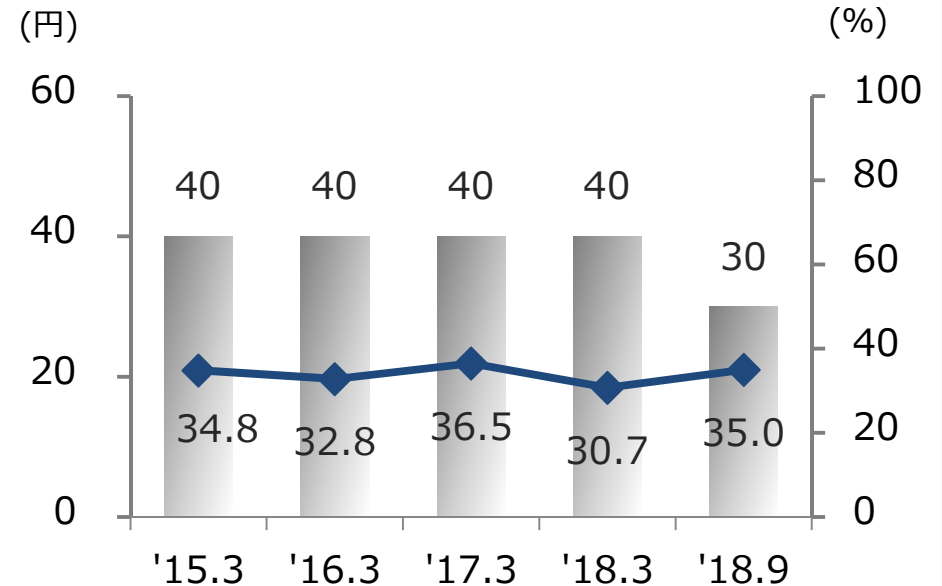
株主還元策

■ 剰余金の配当等の決定に関する方針

剰余金の配当につきまして当社は、株主の皆様への安定した利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を図るとともに利益動向や経営環境を勘案し、年2回の配当を実施することを基本方針としております。

今後も、中長期的な視点にたって、成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入することにより、持続的な成長と企業価値の向上ならびに株主価値の増大に努めてまいります。

■ 配当性向



<注>

1. 昨年10月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しました。よって、株式併合後を考慮して記載しています。
2. 次期中間配当につきましては、創業100周年を記念した記念配当10円を加え、30円とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。





参 考 资 料



設備投資、減価償却、研究開発費等

金額単位：百万円

摘 要	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	通期予想 2019.3
設備投資額	2,876	4,510	7,988	3,939	4,013	4,000
減価償却費	3,383	3,140	2,169	2,877	3,005	3,500
研究開発費	2,527	2,644	2,773	2,909	3,217	3,300
借入金	12,226	12,672	15,900	16,602	14,576	15,000
従業員数	1,615	1,705	1,796	1,870	1,875	1,900

連結業績推移・予想

摘 要	2014.3		2015.3		2016.3		2017.3	
		対売上高比率		対売上高比率		対売上高比率		対売上高比率
売上高	86,141	100.0%	86,973	100.0%	85,520	100.0%	83,938	100.0%
営業利益	3,556	4.1%	4,164	4.8%	4,615	5.4%	4,551	5.4%
経常利益	3,310	3.8%	4,218	4.8%	4,421	5.2%	4,290	5.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,340	1.6%	2,275	2.6%	2,340	2.7%	2,037	2.4%

摘 要	2018.3		2019.3	
		対売上高比率		対売上高比率
売上高	87,223	100.0%	90,000	100.0%
営業利益	4,690	5.4%	5,400	6.0%
経常利益	4,279	4.9%	5,000	5.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,329	2.7%	3,300	3.7%

金額単位：百万円



主要会社の売上高・営業利益

金額単位：百万円

摘 要		2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3
堺化学工業	売上高	35,333	35,509	35,229	36,384	38,802
	営業利益	317	480	1,320	1,697	2,088
	営業利益率	0.9	1.4	3.7	4.7	5.4
堺商事	売上高	37,734	37,734	36,524	34,353	36,761
	営業利益	525	525	460	558	417
	営業利益率	1.4	1.4	1.3	1.6	1.1
カイゲンファーマ	売上高	9,362	8,803	8,789	8,675	8,585
	営業利益	739	495	497	183	184
	営業利益率	7.9	5.6	5.7	2.1	2.1
大崎工業	売上高	5,845	6,159	5,157	4,766	5,004
	営業利益	367	339	379	368	437
	営業利益率	6.3	5.5	7.3	7.7	8.7
レジノカラー工業	売上高	5,665	5,738	5,786	5,466	5,764
	営業利益	457	501	515	255	306
	営業利益率	8.1	8.7	8.9	4.7	5.3

化学事業の製品別売上高・営業利益推移

金額単位：百万円

摘要		2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3
電子材料	売上高	6,857	7,426	6,463	7,398	8,033
	営業利益	75	556	695	803	969
酸化チタン・亜鉛製品	売上高	12,261	12,380	13,051	13,914	15,758
	営業利益	▲ 337	▲ 456	236	713	624
樹脂添加剤	売上高	10,541	10,512	10,695	11,151	11,934
	営業利益	78	▲ 14	183	530	529
衛生材料	売上高	9,490	9,576	9,526	8,176	8,558
	営業利益	27	▲ 62	▲ 96	182	100
有機化学品	売上高	5,236	5,957	6,927	6,353	5,979
	営業利益	691	1,363	1,256	1,016	548
触媒	売上高	3,570	3,803	2,795	2,650	3,427
	営業利益	144	244	▲ 66	▲ 268	89
受託加工	売上高	5,995	6,313	6,168	5,988	6,721
	営業利益	574	753	645	444	882
その他	売上高	20,830	20,502	18,315	17,053	17,218
	営業利益	1,369	1,196	1,323	1,015	800
合計	売上高	74,780	76,469	73,940	72,683	77,628
	営業利益	2,621	3,580	4,176	4,435	4,541

注：化学事業の営業利益から全社費用を差し引いています。



カイゲンファーマの製品別売上高推移

金額単位：百万円

摘 要	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3
バリウム	2,543	2,436	2,453	2,315	2,327
アルロイドG	1,522	1,279	1,088	880	860
医療機器	1,969	1,922	2,074	2,309	2,290
一般用医薬品	1,831	1,717	1,729	1,580	1,463
その他	1,497	1,449	1,445	1,591	1,645
合 計	9,362	8,803	8,789	8,675	8,585